

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市垂水町1丁目マンション	階数	地上10階、地下1階
建設地	大阪府吹田市垂水町1丁目	構造	RC造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	124人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2020年1月24日
敷地面積	659㎡	作成者	畠山 利宏
建築面積	306㎡	確認日	2020年1月27日
延床面積	2,641㎡	確認者	畠山 利宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.8**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.2**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
高効率の設備システムを採用し、省エネルギー性能に配慮する。	特に無し	
Q1 室内環境 内装仕上げ材に、F☆☆☆☆の建築材料を使用し、シックハウス対策等、入居者の快適性に配慮する。	Q2 サービス性能 カテゴリ5E LAN配線(Cat5e)を居室内で設け、高度情報通信に対応可能とする。 防汚性の高い建材を使用する。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周囲に緑地を複数箇所設け、地域に配慮すると共に、敷地内温熱環境の向上にも配慮する。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量を抑えるために、潜熱回収型給湯器、LED照明等を採用する。	LR2 資源・マテリアル F☆☆☆☆の内装素材などの資源マテリアルの採用をおこなっている。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0144

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市垂水町1丁目マンション 新築工事					
	建設地	吹田市垂水町1丁目					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		